

明石市立大蔵中学校だより「2019年9月18日（第20号）」

書あり 師あり 友ありて



素晴らしい体育大会をありがとう

学校長 平田 高之

9月14日、スローガンの「雲外蒼天〜輝く空に勝利を描け〜」を思わせる秋晴れのもと、「第73回大蔵中学校体育大会」を無事に終えることができました。ご来賓、地域、保護者の多くの皆様に、生徒たちに熱いご声援を頂き本当にありがとうございました。

夏休み前から、生徒会執行部・保体委員・マスゲーム委員を中心に、自分たちの力で体育大会を築き上げよう、特に、3年生は最後の体育大会を素晴らしいものにしようと、限られた時間の中で、練習を積み重ねてきました。その結果、一人一人が今までの自分を超越、一生懸命ひたむきに取り組む姿を見せてくれ、令和最初の体育大会は今後も記憶に残るものとなりました。

主な演技の様子について紹介いたします。

午前中のハイライトは何といっても**2・3年生女子による「リズムダンス」**でした。

夏休み中に、マスゲーム委員が暑い暑い武友館で、堀川先生と振り付けを相談しながら創作していき、2学期が始まると、他の生徒たちにリーダーとなり全員が早くから覚えていきました。特に、3年生にとっては最後の晴れ舞台となるということで、思いっきり踊って楽しんで素晴らしいダンスを作ろうと、堀川先生の指導に応じてきました。マスゲーム委員、3年生、2年生、2・3年合同等とバージョンや体形をいろいろ変え6曲演技してくれました。退場の際の、生徒の満足した表情と声に感動された保護者の方も多かったのではないのでしょうか。また、生徒たちから先生と一緒に踊りたいという声があったということで、教員も参加しました。ガチ組と生徒と一緒に踊るパートの振り付けを堀川先生が動画にしてくれ、通勤途中や自宅等で映像を見て、自主練習や放課後の「謎の練習」を繰り返しました。生徒たちの良い思い出の一部となってきていたら幸いです。



午後のスタートは**「クラブ行進」**からでした。

市・県・近畿総合体育大会等で、3年生を中心に多くの部活動が素晴らしい結果を残してくれ校長室には優勝旗とカップが並んでいます。堂々とした行進の後に、生徒代表でサッカー部松田君、女子バスケットボール部島田さんの両主将が宣誓を行いました。行進に先立ち、7月に行われた「県吹奏楽コンクール東播磨地区大会」で最優秀賞に輝いた吹奏楽部がマーチングを行いました。



午後のハイライトは**2・3年生男子による「組立体操」**でした。

本年度は、危険防止のため、高さのあるピラミッドやタワーは行いませんでした。そのため、夏休み前から保体委員や組体操委員のリーダーが、組体操の前に新しい動きを考え出しました。組体操も、難しい技を見せるのではなく、キビキビとした動き、待機の姿勢や移動等にこだわるよう、久森先生と正垣保体委員長が呼びかけてきました。新しい動きのダンスを楽しんで踊っていた3年生男子の表情。無駄な声がかえらない、移動の素早さ、男子の声が揃って響く号令等、練習でこだわってきた部分がすべて発揮された素晴らしい演技でした。特に、「ボディースラップ」は、全員が心をついてそろった動きや音には大変迫力があり、感嘆の声と大きな拍手が沸き上がりました。



最後の演技は**全校生徒による「全校ソーラン節」**でした。

全校生がひとつになって行う演技をしようと4年前から始まり、今年で5回目となります。全校生がそろって練習できたのは、全校練習2回と予行の3回だけです。後は体育の授業という、限られた時間での取組でした。しかし、3年生は3年目となり、伝統を引き継いでいこうという気持ちで引っぱり、それに1・2年生も応えるようになりました。特に、体育大会前日の最後の全校練習での1回目の練習の後の出来事でした。正垣保体委員長から「今の演技は、本当にみんな本気で踊っていましたか。3学年全員で踊るのは明日で最後になるけど、今の演技でいいんですか」という訴えがあり、その後の2回目の練習は見違えるようによくなりました。体育大会当日も、一生懸命全校生を引っ張ってきたリーダーたちの強い思いに全校生徒が応えた圧巻の演技となりました。



第73期生徒会執行部は、練習・予行・当日の準備や進行、生徒会通信「PROGRESS」の発行、何より、誰よりも早く集まり全校生へ呼びかける等先生方ほとんど注意をする必要がありませんでした。

自分たちの手で作り上げるんだという気持ちがあつねに溢れてました。保体委員、マスゲーム・組立体操委員の生徒たちも同様に、自分たちの役割を果たし、体育大会を成功に導いてくれました。

この流れや良き伝統を文化発表会に、そして、74回生が引き継いでくれることを願っています。本当におつかれさまでした。そして、本当にありがとう。

